

令和7年度 入間市児童発達支援センターういず事業実施評価

事業	相談支援事業	管理番号	1	評価
令和7年度に取り組む目標	・令和7年度から相談業務を円滑に委託するため、委託先との連携体制を構築し、スムーズな引継ぎを完了する。 ・相談しやすい窓口を実現するため、来所者向けアンケートの実施と検討を行う。			S＝計画を上回って達成 A＝計画通りに達成 B＝概ね計画通りに達成 C＝一定の見直しが必要 D＝抜本的な見直しが必要
実施結果	心理士を「常勤2名体制」へと変更し、専門相談が曜日を問わず対応可能となった。また委託事業者と週1回の定例会議および日常的な情報共有を通じて連携体制を構築した。相談件数は横ばいで推移したものの、相談の質的改善により、複雑化する課題に対しても丁寧な対応を維持できた。来場者へのアンケートは検討を重ね、試験的に検証を行った。			

実施内容			評価
①総合相談窓口			
	ア 相談支援		
1	電話・来所相談	・相談事業 随時（委託） ・月次統計 ・前年度統計資料作成（4月～5月） ・事業周知資料作成、配布（上半期・下半期） ・利用分析、評価	A
2	時間外・オンライン相談	・来所者向けアンケートの実施 随時＜4-4＞ ・関係課との連絡・各種会議出席 随時 ＜3-1＞ ・内部研修 ＜4-3＞ ・委託事業者と市職員による定期運営会議、事業検証（月1回）＜4-5＞	A
3	休日相談	・委託事業者打ち合わせ、内容確定（4月） ・年6回実施（5/31・7/12・9/28・11/30・1/17・2/7）（委託）●事情により年5回実施 ・事業周知資料作成、配布（4月～5月）	A
	イ 専門相談		
4	専門相談 (心理士・作業療法士・言語聴覚士)	・専門相談事業 随時（委託） ・月次統計 ・月末に定例会議実施（市職員・委託事業者） ・利用分析、評価	A
5	医療相談	・事業周知、募集（5月～） ・年6回実施（7/17・8/1・9/12・11/27・1/30・2/27） ・次年度以降の事業内容の検討、医師の確認	A
6	ウ 障害児相談支援 (計画相談支援)	・モニタリング、計画作成 随時（委託） ●利用者数増加、丁寧なモニタリングが行われた ・月末に定例会議実施（市職員・委託事業者）	S
7	エ 相談支援にかかる情報の管理	・サポート手帳の周知活用について調査（随時） ・サポート手帳について、近隣市の研究・調査（2月～） ・相談支援システムの情報共有の研究（10月～）	A

令和7年度 入間市児童発達支援センターういず事業実施評価

事業	児童発達支援事業「元気キッズ」	管理番号	2	評価
令和7年度に取り組む目標	・利用者のニーズに沿った適切な支援事業が行えるよう、委託事業者との連携体制を強化し、情報共有を行う。			S＝計画を上回って達成 A＝計画通りに達成 B＝概ね計画通りに達成 C＝一定の見直しが必要 D＝抜本的な見直しが必要
実施結果	委託事業者との月1回の会議、日常的な情報共有を行い、連携体制を構築した。児童発達支援では、令和7年7月より医療的ケア児の単独通所を開始し、支援の幅を広げることができた。また元気キッズのしおりやHPの見直しに加え、遊具点検・事業所自己評価を継続実施し、適切な運営を行うことができた。			

実施内容			評価
1	児童発達支援	・元気キッズ運営 随時（委託） ●医療的ケア児単独通所開始（7月～） ・元気キッズ保護者交流会 年2回開催（5/20・12/24）（委託）＜3-15＞ ・元気キッズと就学先との連絡会実施（11月～）＜3-14＞ ・所属先との連携方法の研究（11月～） ・次年度しおり、HP見直し、検討（12月～） ・モニタリング（前期・後期）実施 ・内科健診 年2回実施（6/4・11/5） ・遊具点検実施（12月） ・事業所自己評価・公表（1月～）	S
2	保育所等訪問支援	・保育所等訪問支援事業 随時（委託） ・ニーズ調査、調整 ・事業所自己評価・公表（1月～）	A
3	日中一時支援	・日中一時支援事業 随時（委託） ・次年度の事業検討	A

令和7年度 入間市児童発達支援センターういず事業実施評価

事業	地域支援事業	管理番号	3	評価
令和7年度に取り組む目標	・ 地域における連携体制を構築するために、地域の支援機関・関係団体の会議等に出席する。 ・ 地域のニーズに沿った新規事業を実施し、地域の支援力の向上を目指す。			S＝計画を上回って達成 A＝計画通りに達成 B＝概ね計画通りに達成 C＝一定の見直しが必要 D＝抜本的な見直しが必要
実施結果	地域の支援機関や関係団体の会議へ積極的に参加し、関係者と「顔の見える関係」を構築したことで、協力体制や情報共有が以前よりも円滑となった。特にういず主催の関係機関連絡会については、作業療法士や医師による講演を行い、地域の支援者とこどもの発達支援に関する知識・情報の共有をすることができた。また、教育・保健・福祉の各分野と緊密に連携を図った結果、参加者が増加し、分野の枠を超えた情報共有と多職種連携を推進することができた。 「自閉症啓発デー」においては健康福祉センターまつりとの連携により、より幅広い層への周知啓発を果たすことができた。また、小中高生向けの支援では、周知方法を工夫したことで、出前講座を希望するクラスが増加し、多くの小中学生に向けてSSTを行うことができた。事業所訪問については、実施時期の検討を行い、令和8年度に実施予定となった。			

実施内容				評価
①地域支援				
ア 庁内関係課、地域の支援機関、関係団体との連携・協力				
1	庁内関係課との連携・協力	・関係課との連絡、各種会議出席 随時 ・関係課への第2期事業計画等説明(6月～7月) ・部、課を超える会議の場の検討(11月～) ・地域保健課との情報共有(年6回) ・教育センターとの情報共有(年6回)		A
2	地域の支援機関・関係団体との連携・協力	・地域の支援機関への訪問(市内中心) ●開始時期を再検討し、令和8年度実施予定		C
3	関係機関連絡会	・関係機関連絡会 年2回開催(9/25・1/30) ●専門性に基づく講義を盛り込んだことで、各回の参加者が増加し、受講後のアンケートでも満足度が高かった。		S
イ スーパーバイズ・コンサルテーション				
4	関係機関連絡会(再掲3-3)	・関係連機関絡会 年2回開催(9/25・1/30)		S
5	施設への講師派遣	・児発、放デイ、相談支援事業所訪問時にニーズ調査(11月～) ・随時実施 ・次年度に向けた準備、検討		B
6	医療相談(再掲1-5)	・事業周知、募集(5月～) ・年6回実施(7/17・8/1・9/12・11/27・1/30・2/27) ・次年度以降の事業内容の検討、医師の確認		A
ウ 地域におけるインクルージョンの推進				
7	施設支援	・施設支援事業 随時(委託) ・事業周知資料作成、配布 ・利用分析、検討 ・園長会等、関係機関との集まりで事業周知 随時 ・講師派遣、講義実施 随時		A
8	インクルーシブ支援	・発達支援講座周知資料作成、配布(5月) ・保育幼稚園との調整、ISP会議出席 随時 ・発達支援講座(CLM初級研修等)国リハ共同開催(11/4、11/5) ・来年度事業検討、関係者打ち合わせ		A
9	医療相談(再掲1-5)	・事業周知、募集(5月～) ・年6回実施(7/17・8/1・9/12・11/27・1/30・2/27) ・次年度以降の事業内容の検討、医師の確認		A
10	関係機関連絡会(再掲3-3)	・関係機関連絡会 年2回開催(9/25・1/30)		S

実施内容			評価
	②家族支援		
	ア 就学・就労支援		
11	就学・就労を考える会	・就学を考える会開催 年2回開催 (1/28、3/4) ・就労を考える会検討	A
12	親支援講座 (学校教育課共催)	・計画、講師依頼 (4月) ・事業周知、募集 (5月～) ・親支援講座 年4回開催 (7/2・8/29・10/23・11/27)	A
13	親の学習講座 (学校教育課共催)	・親の学習講座 開催 (※実施希望日は前年度中に保育所等各施設と調整)	A
14	元気キッズと就学先の連絡会	・計画、準備、日程調整 ・元気キッズと就学先の連絡会実施 (11月～)	A
	イ 保護者交流		
15	保護者交流会	・委託事業者との打ち合わせ ・元気キッズ保護者交流会 年2回開催 (5/20・12/24) (委託) ・次年度事業 (元気キッズ保護者、一般保護者向け交流会) の検討	A
16	休日開放	・委託事業者との打ち合わせ ・マニュアル作成 (4月～5月) ・休日施設開放 年6回開催 (委託) (5/31・7/12・9/28・11/30・1/17・2/7) ●利用予約がなかったため年4回開催 ・利用分析、検討 ・事業周知資料作成、配布 (上半期・下半期)	A
17	ウ ペアレント・トレーニング	・市内の資源調査 ・近隣市の実施状況調査 ・実施方法の検討	A
18	エ 交流保育	・過去実施資料調査 ・他市事例や関連法令・補助金等の調査	B
	③普及啓発		
	ア 発達障がいに関する知識の普及啓発		
19	ホームページ、SNS、パンフレット	・媒体、内容の整理・研究、作成 (見直し・更新) ・パンフレット作成 (相談・児発・地域支援) ・ホームページ、SNS等の情報発信、随時	A
20	講師派遣	・事業周知、講師派遣実施 随時 ・次年度向け講座メニューの準備、検討	B
21	子育て支援拠点相談会	・ちょこっと相談会 試行 (5/21)	B
22	自閉症啓発デー、発達障害啓発週間 (ブルーライトアップ)	・西洋館ブルーライトアップ実施 (4月) ●健康福祉センターまつりや、ブルーナイトストリートとの連携を実施した。 ・健康福祉センターボードの装飾 (4月) ・他事業との連携による周知の検討、実施	S
23	健康福祉センターまつりでの催し	・実施内容検討、準備 (12月～) ・事業実施 (3/8)	A
	イ 小中高生向けの支援		
24	SST (ソーシャルスキルトレーニング) 出前講座	・小学校4年生、中学校1・2年生対象で開催 ●周知方法の工夫により、講座を希望する校数が大幅に増加した。 ・申込は各学期ごと 随時実施	S
25	夏休みSST(ソーシャルスキルトレーニング) 集中講座	・講座資料等検討、作成 (4月～7月) ・募集、申込 (6月～7月) ・夏休みSST講座 4日間1コース開催 (7/22・7/25・7/29・8/5) ●利用者の事情により3日間開催	A

令和7年度 入間市児童発達支援センターういず事業実施評価

事業	事業運営向上の取組	管理番号	4	評価
令和7年度に取り組む目標	・各事業が相乗効果を発揮するため、進捗状況と結果を基に改善点を抽出し、広い視野で次年度以降の運営に活用する。			S＝計画を上回って達成 A＝計画通りに達成 B＝概ね計画通りに達成 C＝一定の見直しが必要 D＝抜本的な見直しが必要
実施結果	運営協議会を年2回開催し、5か年の実施計画策定および進捗状況の報告を行った。委託事業者とは月1回の会議を行い、各事業について、連携を図ることができた。市職員・委託事業者職員が各研修の受講や母子保健事業の見学を行い、支援力の向上を図った。アンケート調査で得られた意見は、今後の各事業の内容や広報に活用することで、より良い事業運営となるよう努めた。			

実施内容			評価
1	運営協議会の設置	・運営協議会 年3回開催（6/20・11/7・3/13）●11/7中止 ・公募委員募集 準備（1月～）、募集開始（3月4月～）	A
2	民間活力の導入	・相談、児発事業を委託（※㈱スペクトラムライフ） ・ういず会議（月1回開催）	A
3	支援力向上の取組	・市職員研修受講 随時 ・元気キッズ内部研修 年3回 ・母子保健事業の見学（5月～7月） ・教育センター見学（7月～）●未実施のため、R8実施予定	B
4	調査・研究に関する事務の実施	・来所相談者へのアンケート実施 随時 ・講座等参加の支援者へアンケート実施、結果に基づく検討	A
5	PDCAサイクルによる事業検証	・相談：委託事業者と市職員による定例運営会議、事業検証（月1回） ・児発：自己評価、利用者評価（1月～3月） ・地域支援：相談者や関係機関への調査等で得られた情報に基づいて進捗状況等の検証（随時） ・次年度計画案作成（11月～3月） ・各事業毎の検証（11月～3月）	A